

目指せ！ ごみ分別の達人になろう

毎日の生活で出てくるごみ。皆さんはちゃんと分別できていますか。ごみの分別は、簡単そうで結構難しいですね。ごみは、しっかりと分別することで、安全に正しく処理することができます。今回は、ごみの分別のポイントと、ごみを出すとき特に注意していただきたいことを、ごみ博士が説明します。

問い合わせ 清掃センター ☎596-0844



リポーター

ごみ博士

資源ごみの
分別ポイント

資源ごみは、分別して再生工場に送られて、新しい商品の材料としてリサイクルされます。ルールを守ってきれいな状態を出していただく必要があります。

2 缶びん

- ①キャップは外す
- ②中身を空にする
- ③水で軽くゆすぐ
- ④資源収集袋(緑色)で出す



スプレー缶は中身を使い切ってから、穴を開けてガスを抜いてください(風通しの良い場所で)。

1 プラスチック容器包装



- ①プラマークを確認する
- ②中身を空にする
- ③汚れは洗うか軽くふき取る
- ④資源収集袋(ピンク色)で出す



プラマークの付いたものが対象です。付いていないプラスチック製品はもえるごみになります。

ごみを分別して資源としてごみを出すことで、新しい製品の材料に再生できるものがたくさんあります。ただし、資源として出されたものも、分別が間違っていたり、汚れていたりすると資源として使えません。地球環境を守るためにも、限りある資源を次の世代につなげましょう。

捨てれば「ごみ」、分ければ「資源」

ごみの分別方法 をご紹介します

4 金属類

鍋や食器、小型の家電製品(パソコンを含む)など、金属を使用しているものは金属類になり、資源収集袋(緑色)で出してください。



刃物など危険な物は、新聞紙などで包み、袋に「キケン」と書き、電池で動く時計やおもちゃなどは電池を抜いて入れてください。

3 ペットボトル

- ①キャップとラベルは外す
- ②中身を空にする
- ③水で軽くゆすぐ
- ④資源収集袋(緑色)で出す



かさばる場合は手で軽くつぶしてください。

ごみ博士からの
お願いじゃ



ごみ袋の向こう側には、ごみを集める方、ごみを分ける方、ごみを処理する方など、多くの方が働いています。ごみを出すときには、その働いている方のことを考えてもらえるとうれしいです。

資源ごみの2重袋はやめましょう

プラスチック容器包装や、缶・びん類、ペットボトルなどの資源ごみで、レジ袋など中身のみえない小袋などにごみを入れた状態で、緑色やピンク色の資源収集袋に入れているのを2重袋といいます。

2重袋は、選別の際、一つ一つの手で小袋を開けなければならないので、また、中に何が入っているのかわからないので、選別作業に危険をもたらします。資源ごみの2重袋は絶対にしないでください。

もえるごみは、生ごみや使用済み紙オムツなど、やむを得ない場合もあるので、2重袋でもかまいません。

中身の残った容器は出さない

液体やガスなどの中身が残ったものを、そのままでは絶対にごみとして出さないでください。他のきれいな資源ごみが汚れてリサイクルができなくなったり、有害なガスを発生させたりする恐れがあります。(中身は空にしてください)

清掃センターにごみを直接持ち込む際の注意点

家電リサイクル法対象品について

テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンについては、家電リサイクル法により、小売店やメーカーに引き取り義務があるため、清掃センターへの持ち込みはできません。小売店やメーカーにお問い合わせください。

これらの物をバラバラに解体されても清掃センターでは受付処理はできませんのでご注意ください。

直接持ち込まれた際の指定袋について

指定袋に入れたごみを清掃センターに直接持ち込まれた場合は、指定袋として手数料無料で取り扱いますが、指定袋のみの場合でも必ず受け付けが必要になります。

受付時間はごみの受付時間と同じ9時から11時45分までと13時から16時までです。(受け付けずに出すことはできません)

もっと知りたい！ごみの分別

市では、市民の皆さんのごみへの疑問に答えるため、自治会に「ごみ博士」を派遣しています。また、今年3月には、ごみ博士がごみの分別をわかりやすく説明する「ごみ博士のごみ分別講座」のDVDを製作して、市内すべての自治会に配布しました。DVDよりも、もっと詳しい話を聞きたいときは、ごみ博士が自治会などに行き説明します。お気軽にお声かけください。

予約・申し込み 市民衛生課 ☎552-6253

☆使ってみて！「ごみ出し」検索ページ



「これ、何ごみでせうばいい?」「このごみをどう出せばいい?」など、ごみ出しに関するお悩みはありませんか。そんなときに役立つのが、市ホームページ「家庭ごみの出し方」検索ページです。困ったときはぜひ、ご利用ください。

